

STAR

フレコンハンガー

取扱説明書・部品表

製品コード

K99036

型式

FARB106SH

製品コード

K99040

型式

FARB106SHV

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

目次

安全に作業をするために	2
I 各部の名称	5
II 本機の脱着のしかた	6
1.取り付け前の準備	
2.トラクタへの装着	
3.本機の取り外し方	
III インプレメントの脱着のしかた	6
1.取り付け前の準備	
2.本機への装着	
3.本機の取り外し方	
IV 本機の実取扱方法	7
1.吊り下げ	
2.投下	
3.旋回	
V 作業前の点検について	7
1.点検箇所	
2.点検のしかた	
VI 本機の簡単な手入れと処置	8
1.定期点検箇所	
2.グリースの補給	
VII アフターサービス	8
付表	8
主要諸元	

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は製品の正しい取扱方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げ製品がすぐれた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。

なお、製品の仕様変更により、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▲ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、▲表示のラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げいただいた購入先に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■ 注意事項について

本取扱説明書は、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように表示しています。

 **危険** : その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** : その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** : その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、または製品の重大な破損を招くおそれのあるものを示します。

補足 : その他、使用上の役立つ補足説明を示します。

▲安全に作業するために

本機を使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、安全な作業をしてください。安全に作業していただくため、ぜひ守って頂きたい注意事項は下記の通りですがこれ以外にも、本文中で▲警告・▲注意・重要・補足としてその都度取り上げています。

1.作業前に

- (1) 本機を操作する前に、トラクタの取扱説明書と機械に貼ってある ▲表示ラベルをよく読み、理解した上で捜査してください。
- (2) 本機を他人に貸すとき、又、操作させるときは、事前に操作の仕方を教え、本書を読ませてください。
- (3) 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対に操作させないでください。
- (4) 飲酒時や体調が悪いときは、本機を操作しないでください。
- (5) ダブダブやかさばった衣服を着用しないでください。回転部分や操作レバーに引っかかり事故の原因になります。安全の為、ヘルメット、安全靴、保護めがねや手袋などを必要に応じて使ってください。
- (6) 本機を改造しないでください。改造すると、本機の機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながります。
- (7) 紛失したり損傷した部品は交換してください。又、定期的にボルトやナットがゆるんでいないか点検してください。

2.操作時に

- (1) 溝や穴の近く、路肩など重みでくずれやすいところでは操作しないで下さい。又、吊り下げ作業時トラクタが傾いたり転倒しないように、十分に硬い地面の上で操作してください。硬い場所であっても傾斜した場所では操作しないでください。作業場所の選択を怠ると人身事故につながります。必ず場所の確認を行い操作してください。
- (2) 共同で作業するときは、声をかけあって、お互いにしようとしていることを知らせてください。
- (3) トラクタ側のエンジンを始動させたまま運転席から離れる場合は、車速変速レバーやPTO変速レバーが”中立”かどうか、又、駐車ブレーキがかかっているかを確認してください。
- (4) 本機をトラクタに装着したとき、かじ取り車輪(前輪)にかかる荷重がトラクタ質量の20%以上になるようバランスウェイトを装着して使用してください。
特に本機に更にブロードキャスタ等のインプルメントを装着する場合は、前後の重量バランスに注意して下さい。
本機やトラクタの損傷や転倒、人身事故にもつながります、十分注意してください。
- (5) 輪距(タイヤ中心間の距離)が変更できるトラクタへの装着の場合は、支障のない範囲で輪距を大きくすると、安定が良くなります。
- (6) 上昇させたブームや吊り荷の下には、絶対に人を立ち入らせないようにしてください。
ブームや吊り荷が落下した時、人身事故につながります。
- (7) ブロードキャスタ等の装着したインプルメントへの積載は、偏らないようにしてください。
偏った荷物の積載は、転倒につながり危険です。
- (8) ブームによる吊り下げは、荷崩れしないように行ってください。
特に、引っ掛け分が亀裂や摩耗したフレコンは、自重により切断し墜落する恐れがあり危険です。必ず確認をして吊り下げてください。

- (9) 最大荷重は必ず守ってください。ブームの伸縮で最大荷重が異なりますので、本書記載の最大荷重に従ってください。尚、本機に装着されたインプルメントの質量も加算されます。

3. 走行時に

- (1) 走行するときは、必ずブームを縮め下にさげて、更にスタンドを最上部まで上げてください。トラクタ側のポジションコントロールで本機全体を下に下げると、スタンドが走行時に地面に接触し機体損傷の原因になりますので注意してください。ブームは後方に向けてください。
- (2) カーブ走行する時思った以上にオーバーハング(尻を振る)します。特に曲がろうとする外側の障害物などに注意してください。
- (3) 坂道走行は転倒を避けるため、トラクタの前後左右バランスに気をつけて行ってください。
- (4) 本機やインプルメントに人を乗せて走行しないでください。人身事故につながる恐れがあります。
- (5) トラクタは作業機を装着して公道を走行できません。(道路運送車両法の保安基準) 作業機を装着して走行すると、他の車や電柱などに引っ掛けて事故の原因になります。

4. 着脱時に

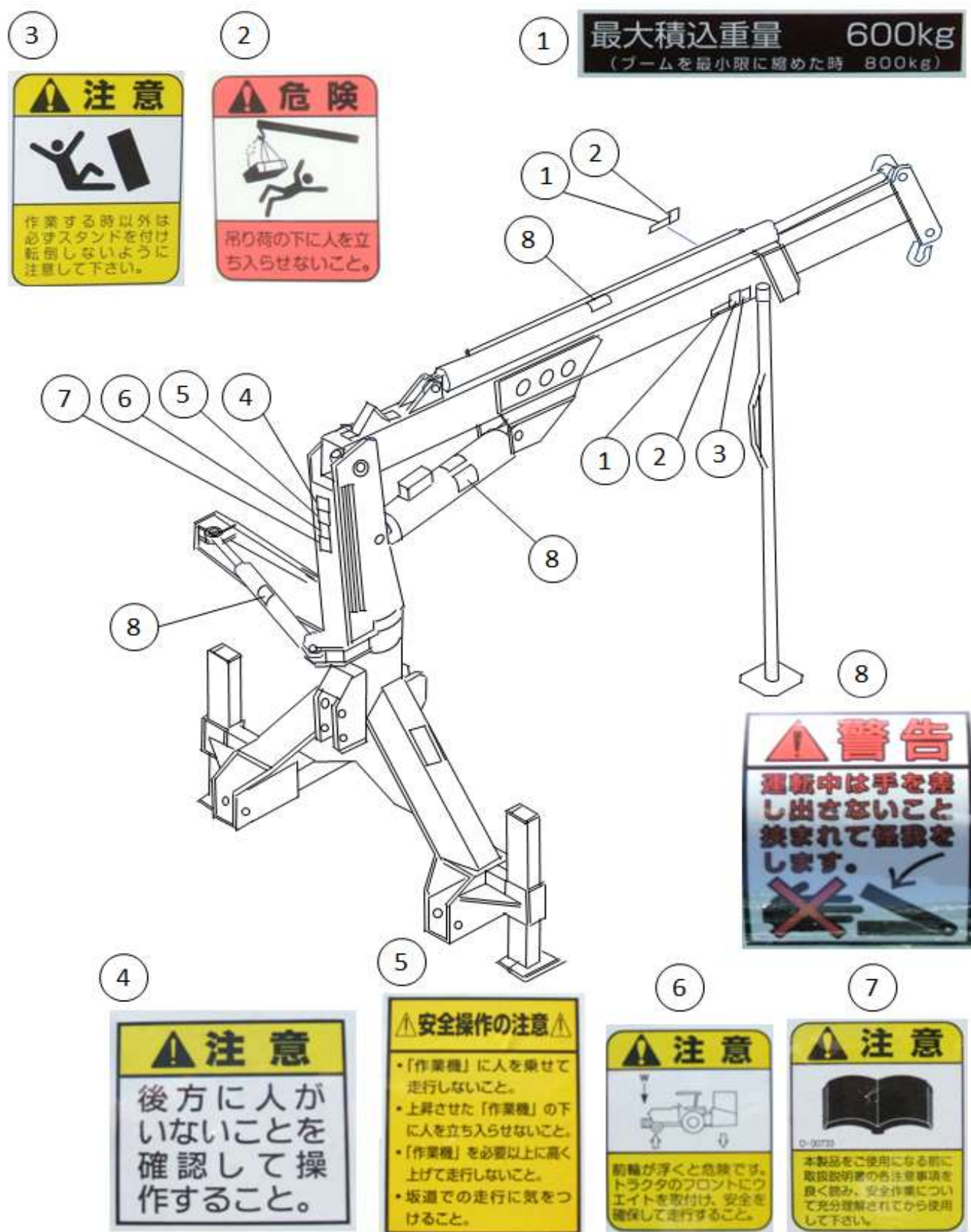
- (1) 本機のトラクタへの着脱や、本機のインプルメントの着脱は、平坦な場所で行ってください。
- (2) 圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。油圧部品を外すときは、必ず残圧を抜いてください。

5. 格納・点検時に

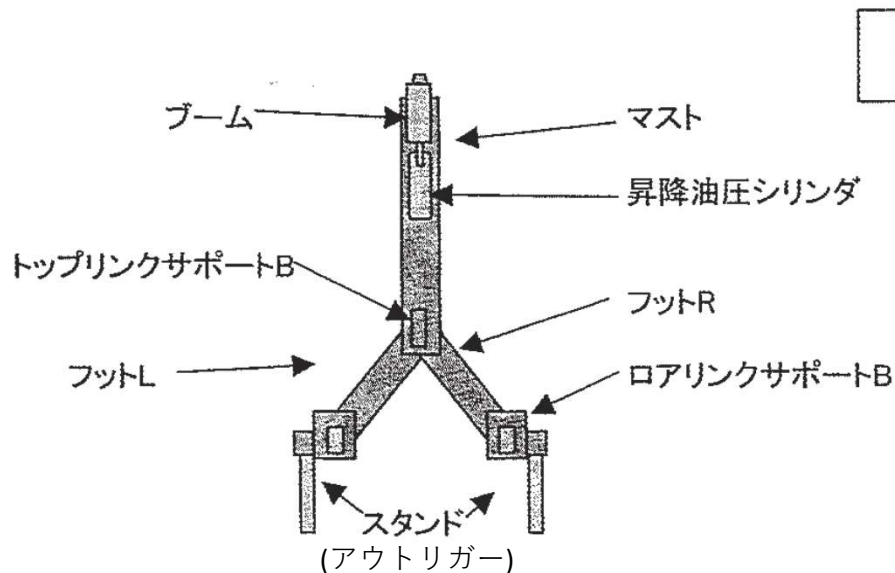
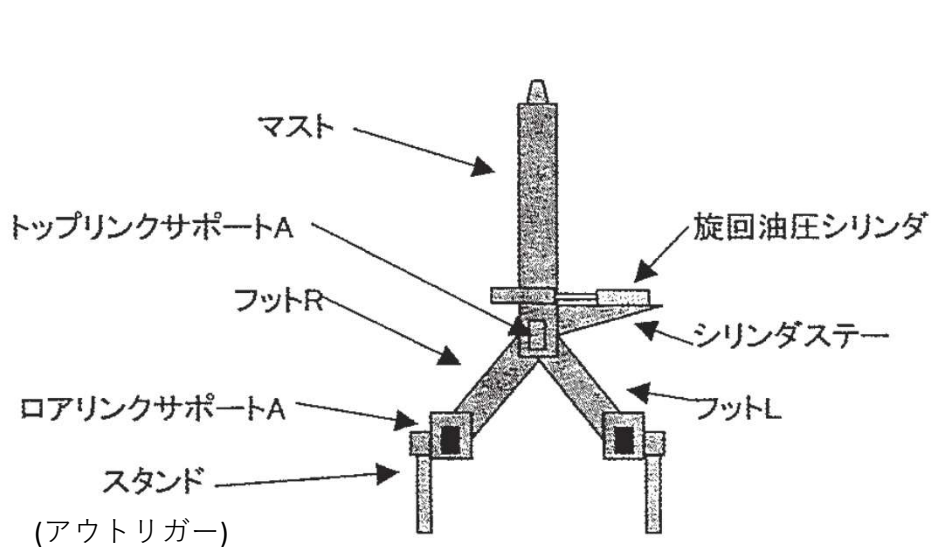
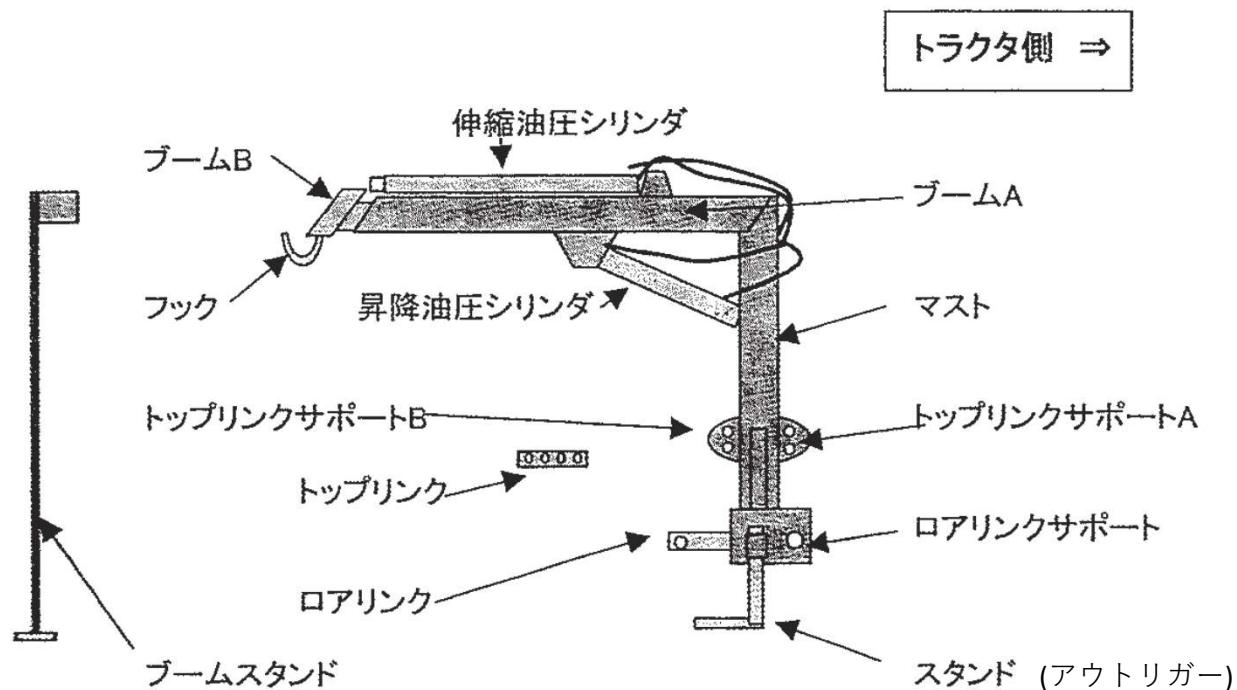
- (1) 格納はスタンドを下げて行ってください。格納時、格納中は転倒しないように十分注意して行ってください。
- (2) 目に見えない小さな穴から油漏れを探すときは、保護めがねをかけ、ボール紙などを利用してください。万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こすおそれがあるので、すぐ医師の診療を受けてください。

6.安全銘板の貼りつけの位置

- 安全に作業して頂くために安全銘板の貼り位置を示したものです。安全銘板は常に汚れや破損の無いように保ち、もし破損、紛失した場合は新しいものに貼り直してください。安全銘板の購入は近くの販売店にお申し付けください。



I 各部の名称



Ⅱ 本機の着脱のしかた

1. 取り付け前の準備

- ① 本機を装着できるトラクタは、3点リンク方式 JIS規格カテゴリⅠ・Ⅱ形の装着方式を備えたトラクタに限ります。
- ② ロアリンク、リフトロッドの穴位置は、標準位置で設定してください。
※ ロアリンク: 中、リフトロッド: 上

2. トラクタへの装着

- ① 左・右の本機ロアリンクサポートにトラクタのロアリンクを装着する。
カテゴリに合わせセットピンを装着する。
- ② トップリンクを装着する。
- ③ 装着後、ポジションコントロールレバーをゆっくりと操作し、最上昇時にキャビンやキャノピーにマストが接触しないよう調整する。
調整はトップリンクの長さまたは、ポジションの高さ規制ダイヤル等で牽制してください。
- ④ 油圧カプラを装着してください。

3. 本機の手外し方

- ① ブームスタンドを装着する。本機のスタンドを降ろしピンで固定する。
- ② 油圧カプラを外す。
- ③ トップリンク・ロアリンクを外す。

危険

- ・装着するインプルメントに合わせ、前部ウェイトを必ず取り付けてください。
トラクタの前輪が浮き上がり、事故の原因になります。

危険

- ・本機の着脱は、平坦な場所で行ってください。
- ・本機とトラクタとの間に立たないでください。
はさまれる恐れがあります。

注意

- ・装着後は必ず、接触確認を行ってください。
本機やトラクタの破損の恐れがあります。

危険

- ・本機の着脱は、平坦な場所で行ってください。
- ・本機の着脱時は必ずスタンドを装着して下さい。
- ・本機に寄りかかったり、乗ったりしないで下さい。

Ⅲ インプルメントの着脱のしかた

1. 取り付け前の準備

- ① 本機のロアリンクをインプルメントに合わせ左右のロアリンク間の幅を調整する。
幅調整はロアリンクサポートへのロアリンク装着位置と左右のロアリンクの交換で行ってください。
インプルメントが小さすぎ、標準のロアリンクに装着が不可能な場合は、取扱店にお申し出ください。
- ② 長さにあったユニバーサルジョイントをご用意下さい。
トラクタに本機を装着する為、インプルメントの装着位置がトラクタより約30cm後方に移動します。

危険

- ・左右のロアリンク間の幅は、インプルメントに合わせて必ず調整してください。
幅があっていないとインプルメントの脱落につながり危険です。
- ・長さの合ったユニバーサルジョイントをご使用下さい。
ジョイント抜けにより、破損や傷害事故の恐れがあります。

2.本機への装着

- ①左右のロアリンクにインプルメントを装着する。
脱落防止ボルトを確実に装着する。
- ②トップリンク(付属品)を装着する。
付属のトップリンクが長すぎる場合は、取り扱い店へお申し出下さい。
- ③ユニバーサルジョイントを装着する。
- ④ポジションレバーの最下限位置を設定する。

3.本機からの取り外し方

- ①ユニバーサルジョイントを外す。
- ②トップリンクを外す。
- ③ロアリンクの脱落防止ボルトを外し、ロアリンクから外す。



注意

- ・インプルメントの着脱は平坦な場所で行って下さい。
- ・装着後は必ず、下限調整を行ってください。
インプルメントの破損の恐れがあります。



危険

- ・インプルメント着脱時は、必ずPTOを中立にして下さい。



危険

- ・インプルメント着脱時は、必ずPTOを中立にして下さい。



注意

- ・インプルメントの着脱は平坦な場所で行って下さい。

IV 本機の取り扱い方法

1.吊り下げ

- ①フックにフレコンのベルトを引掛ける。
- ②ブームを上昇させ吊り下げる。
この時、ベルトのたわみでフックから外れないように注意してください。
- ③ブームの伸長を行い更にフレコンを上昇させ
ブロキヤス等の上まで吊り下げる。

2.投下

フレコンがブロキヤス等の真上の位置にある事を確認し投下して下さい。

3.旋回

ブームを旋回させフレコンの吊り下げを効果的に行ってください。

アウトリガー(スタンド)を地面に出し、安定性を確保してください。



警告

- ・作業は水平かつ平坦な場所で行って下さい。
平坦であっても硬い地面の上で行い、旋回時は特に転倒には十分注意して下さい。
- ・万が一の転倒に備え作業員以外は、近づかないで下さい。
- ・吊り荷の下には、絶対に入らないで下さい。
- ・吊り下げ重量制限は必ず守って下さい。
特にブームの伸縮時で吊り下げ制限重量が異なりますので注意してください。
- ・吊り下げ作業は危険を伴います。
注意事項を守らないと死亡や重大事故にもつながりますので十分に注意して行って下さい。

V 作業前の点検について

1.点検箇所

- ①油圧ホースやジョイント部
- ②各部のセットピン
- ③主要なボルトやナット
- ④その他外観上の異常箇所

2.点検のしかた

- ①油圧ホースやジョイント部からの油漏れがないか点検を行ってください。
- ②各部に装着したセットピンが、外れていないか点検して下さい。



注意

- ・傷害事故防止のため、点検する場合は、次の事項を守って下さい。
※トラクタを平坦な場所に置く。
※エンジンを止め駐車ブレーキを掛ける。

補足

- ・作業前の点検を行うことで、作業中の事故防止につながります。
必ず行いましょう。

- ③ロアリンク装着ボルト等のボルト、ナットが緩んでいないか点検して下さい。
- ④油圧シリンダのスライド部やフック等に大きな傷がないか点検してください。

VI 本機の簡単な手入れと処置

1. 定期点検箇所

- ①油圧ホース、ジョイント部
- ②各部のグリースアップ
 - グリースニップル部
 - a. ブームAの上部
 - b. ブームAのトラクタ側の側面部
 - c. マスト最下部
 - d. 油圧シリンダ両端部

2. グリースの補給

- ①上記のグリースニップル部には定期的にグリースの補給を行って下さい。
- ②上記以外でも金属同士が接する部分にグリースの補給をすることをお勧めします。



注意

- ・傷害事故防止のため、点検する場合は、次の事項を守って下さい。
- ※トラクタを平坦な場所に置く。
- ※エンジンを止め駐車ブレーキを掛ける。

VII アフターサービス

■ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は、お買い上げいただいた購入先に、それぞれ「ご相談窓口」を設けておりますのでお気軽にご相談ください。



警告

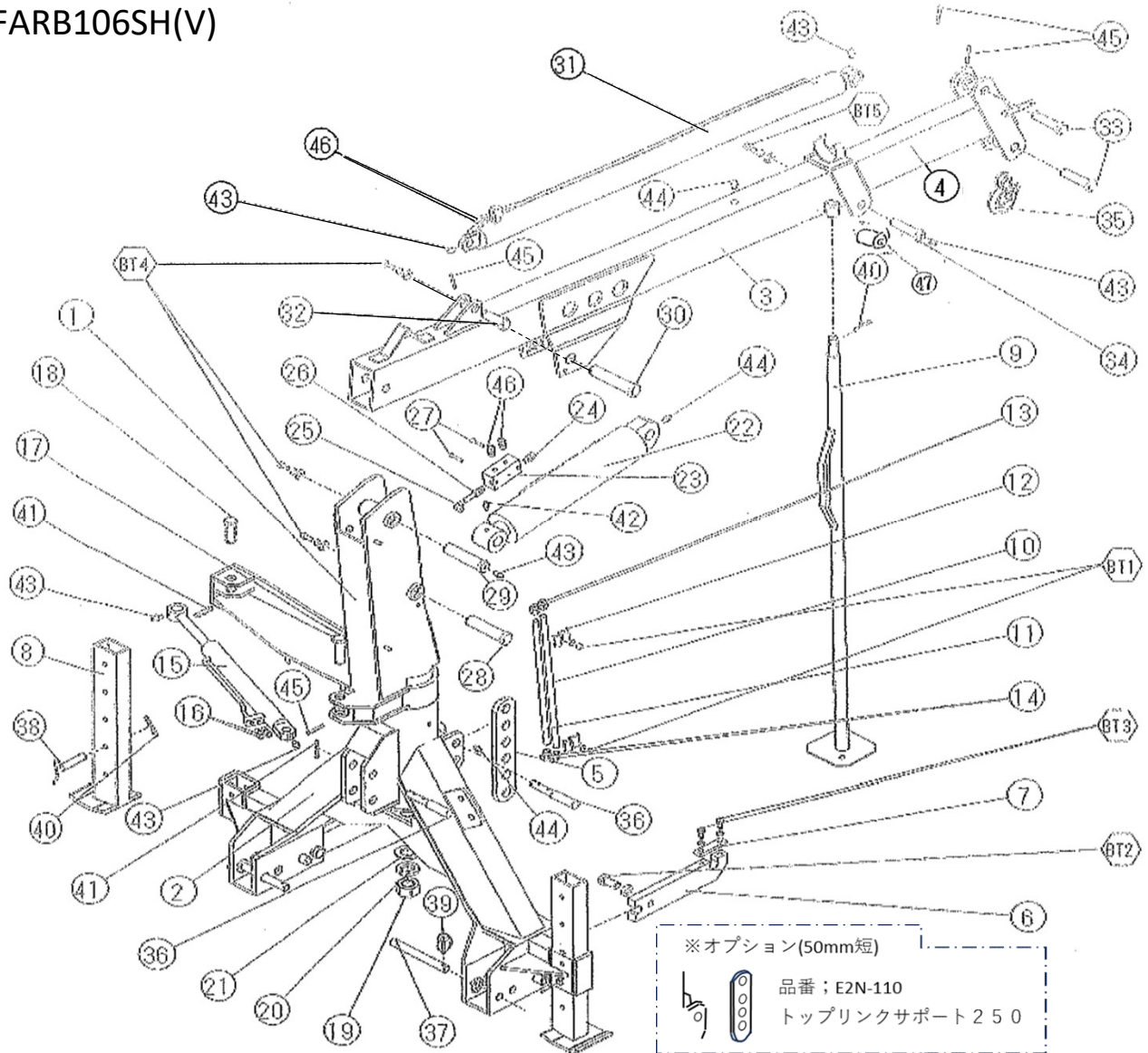
本機を改造しないでください。改造すると、本機の機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながります。

付表

■主要諸元表

	FARB106SH	FARB106SHV
重量	380kg	390kg
全高(スタンド除くマスト長)	1870mm	
全幅	1210mm	
ブーム長(伸長時)	1860(3060)mm	
最大吊り下げ高さ	4300mm	
吊下重量(ブーム伸長時)	800(600)mm	
旋回角度	左右45°	
油圧系統	伸縮・昇降・旋回	

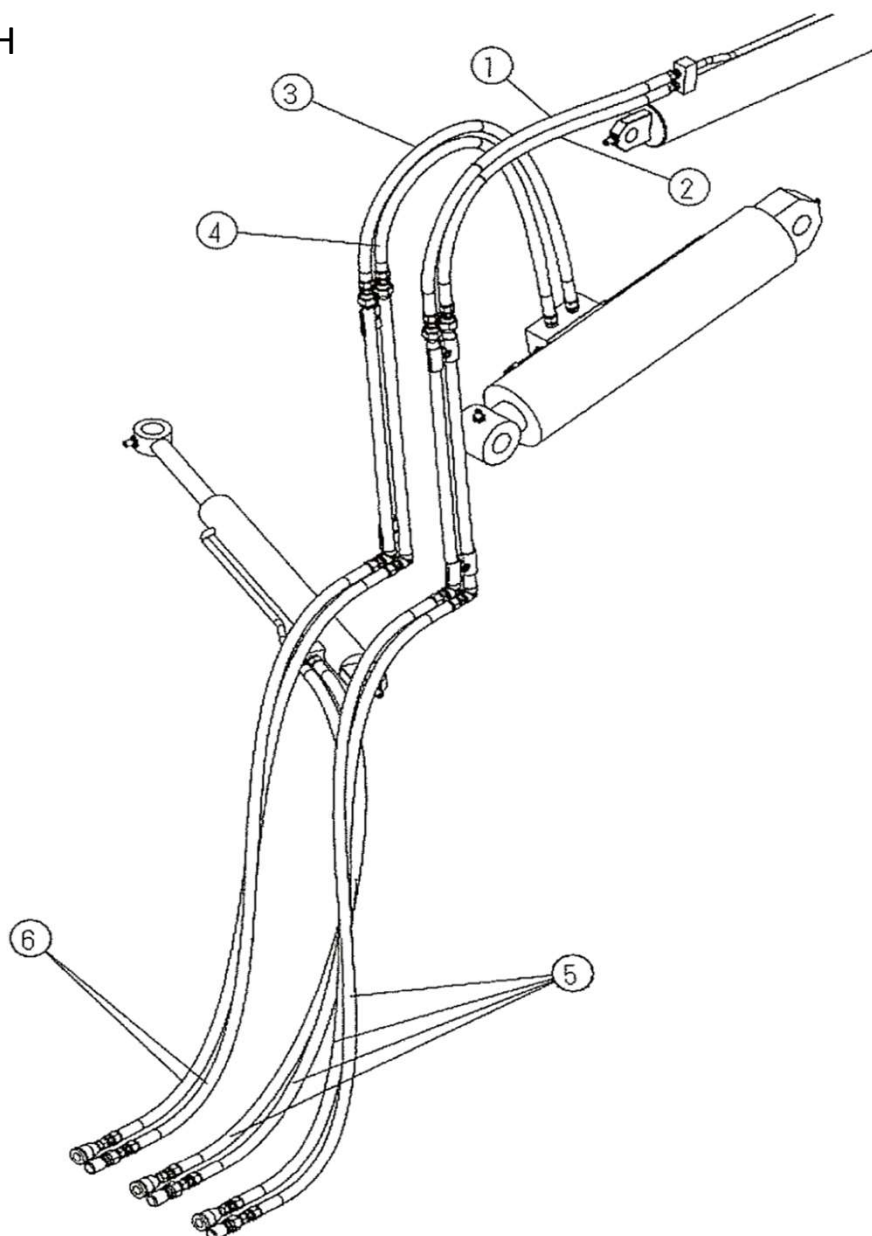
FARB106SH(V)



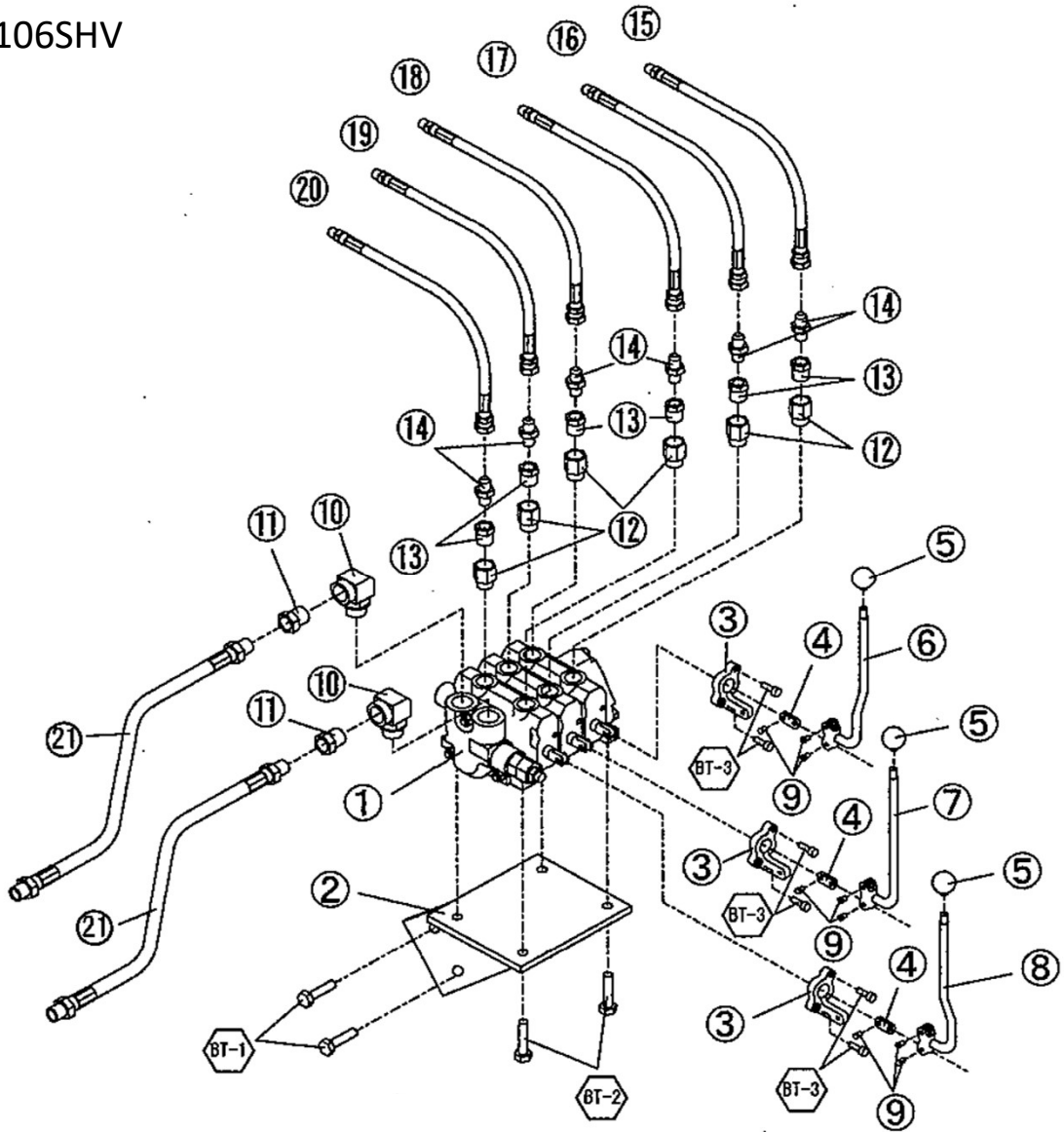
No	品番	品名	規格	数量
1	E2N-100	マストフレーム		1
2	E2N-101	フットフレーム		1
3	E2N-102	ブームA		1
4	E2N-103	ブームB		1
5	E2N-104	トップリンクサポート		1
6	E2N-105	ロアリンクサポート		2
7	E2N-106	カギプレート		2
8	E2N-107	スタンド		2
9	E2N-108	ブームスタンド		1
10	E2N-500	配管1	6 × 460	2
11	E2N-501	配管2	6 × 490	2
12	E2N-400	配管止め		4
13	E2N-401	ソケット	6mm	4
14	E2N-402	エルボ	6mm	4
15	E2N-200	旋回シリンダ	50 × 30 × 300st	1
16	E2N-426	絞り弁	6mm	2
17	E2N-600	シリンダーピン1	25mm × 53	1
18		シリンダーピン2	25mm × 53	1
19	E2N-403	ナット	M39	1
20	E2N-404	スプリングワッシャー	M39	1
21	E2N-405	プレート	16 × 160mm	1
22	E2N-201	リフトシリンダー	90 × 50 × 350st	1
23	E2N-406	チェック弁		1
24	E2N-407	平行ねじ付ニップル		1
25	E2N-408	旋回エルボ		1
26	E2N-409	ニップル	PF1/4-L60	1

No	品番	品名	規格	数量
27	E2N-410	キャップボルト	5 × 25	2
28	E2N-601	シリンダーピン3	31.5mm × 131	1
29	E2N-602	ピン4	31.5mm × 131	1
30	E2N-603	ピン5	31.5mm × 138	1
31	E2N-202	ブームシリンダー	50 × 30 × 1200st	1
32	E2N-604	ピン6	25mm × 68	1
33	E2N-605	ピン7	25mm × 98	2
34	E2N-606	ピン8	25mm × 98	1
35	E2N-411	フック		1
36	E2N-412	トップリンクピン	兼用ピン	2
37	E2N-413	ロアリンクピン	兼用ピン	2
38	E2N-414	スタンドピン		2
39	E2N-415	リンチピン	10mm	2
40	E2N-416	Rピン	4mm	3
41	E2N-417	Rピン	6mm	2
42	E2N-418	グリスニップル	1/8 90°	1
43	E2N-419	グリスニップル	1/8 ストレート	5
44	E2N-420	グリスニップル	6mmストレート	3
45	E2N-421	ロールピン	6mm × 50	4
46	E2N-422	ホースアダプタニップル	6mmストレート	3
47		ガイドローラー	50 × 25.5 × 78	1
BT1	E2N-423	ナット	8mm	4
BT2	E2N-424	ボルト	M20 × 50	2
BT3	E2N-425	ボルト	M10 × 25	4
BT4	E2N-450	ボルトセット	M12 × 30	3
BT5	E2N-451	ボルトセット	M10 × 25	1

FARB106SH

[illegible][illegible]

FARB106SHV

[illegible][illegible]

Memo

千歳本社 066-8555 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
 TEL 0123-26-1123
 FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
 TEL 0123-22-5131
 FAX 0123-26-2035

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ 1 1 9 1 番地 4 4
 TEL 0162-82-1932
 FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西 2 2 条北 1 丁目 1 2 番地 4
 TEL 0155-37-3080
 FAX 0155-37-5187

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町 2 丁目 1 6 番 2
 TEL 0153-72-2624
 FAX 0153-73-2540

花巻営業所 028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第 1 1 地割 1 2 0 番 3
 TEL 0198-46-1311
 FAX 0198-45-5999

仙台営業所 983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字神明 1 7 9 - 1
 TEL 022-388-8673
 FAX 022-388-8735

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁 2 5 1 2 - 1
 TEL 0285-49-1500
 FAX 0285-49-1560

東海営業所 485-0081 愛知県小牧市横内字立野 6 7 8 - 1
 TEL 0568-75-3561
 FAX 0568-75-3563

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市北区下中野 7 0 4 - 1 0 3
 TEL 086-243-1147
 FAX 086-243-1269

熊本営業所 861-8030 熊本県熊本市東区小山町 1 6 3 9 - 1
 TEL 096-389-6650
 FAX 096-389-6710

都城営業所 885-1202 宮崎県都城市高城町穂満坊 1 0 0 3 - 2
 TEL 0986-53-2222
 FAX 0986-53-2233